

今夏さいごの吉野川干潟の観察会・いろいろな生物の専門家と一緒に干潟を探検するチャンス！！

カニ博士たちと一緒に吉野川干潟を探検しよう！



吉野川河口は魅力がいっぱいです。自然と人との暮らしが、隣り合わせにあります。河口から第十堰がある 14.5 kmの地点まで広がる汽水域は、吉野川の多様な生命や暮らしをつないでいます。そして、ここには、今日、失いつつある日本の河口本来の姿があり、市街地のすぐそばに広大な河口干潟が残されています。干潟には、レッドデータブックに掲載されているシオマネキ、ハクセンシオマネキやトビハゼ、クシテガニ、ルイスハンミョウはじめ、今や各地の干潟から姿を消しつつある多種多様な生きものが、ごく当たり前に見られる場所です。

◆和田恵次先生プロフィール（カニ博士・吉野川の干潟とかかわって 20 年）1950 年和歌山市生まれ
奈良女子大学教授。専門は動物生態学、海洋生物学。主な研究テーマは干潟のカニ類の行動、生態、系統進化、保全生物学。

◇日時：9月27(日) 9:00~11:00 * 悪天候の場合は中止

◇集合場所：吉野川河口南堤グラウンド東詰（徳島市住吉4丁目）

◇参加費：無料！ 事前申込は必要ありません ★小学生は保護者同伴

★行事保険に加入していますが、熱中症は補償対象外です

◇持ち物：帽子(日傘)・飲み物(各自多めの飲み物をご持参ください)・長靴又はよごれてもよい靴(靴下をはいてください)・ぬれてもいい服装・小さな子は着替えをもってきてね。

◇主催： 関西自然保護機構 <http://www.omnh.net/konc/>

◇共催： とくしま自然観察の会・日本生態学会近畿地区会 ◇後援：徳島市教育委員会

◇問合せ先：☎088-623-6783/とくしま自然観察の会 ☎:06-6697-6262/関西自然保護機構事務局

●シンポジウム 「徳島県吉野川河口域の自然と開発事業」ご案内

<日時> 9月26日(土) 14:00~17:00 *参加費無料！ ★どなたでもご参加できます。

<場所> 徳島大学工業会館・メモリアルホール（徳島市常三島・徳島大学キャンパス内）

<主催> 関西自然保護機構・徳島大学環境防災研究センター <共催> 日本生態学会近畿地区会

<開催趣旨> 徳島市の市中にひろがる吉野川の河口域は、都市部にありながら、広大な汽水域を擁し、今日本から失われつつある強内湾系の生物種が豊富に生息する貴重な湿地である。今この河口域に、道路増設による橋の建設や港湾整備のための海浜埋立てといった人為的改変が進行している。貴重な河口域生態系は、一連の人為的改変事業から守ることができるのか。近年完成した阿波しらすぎ大橋の建設に対する環境影響評価と、河口部の人工海浜事業の成否を議論し、徳島の自然を守る市民活動の観点を取り入れながら、吉野川河口域の保全のあり方を探りたい。

★関西自然保護機構は関西を中心に幅広いネットワークで自然の保護と保全について考える学際的な団体です。